

第16回かごしまジュニア検定 模範解答

問1.③

[解説]鹿児島県の北端は長島町、南端は与論町で、北端～南端の距離は約600kmもあります。(テキストP1～P2)

問2.①

[解説]宮之浦岳(1,936m)、高千穂峰(1,574m) 韓国岳(1,700m) (テキストP3)

問3.②

[解説]鹿児島湾は300万～100万年前に陥没してできたと考えられており、中央部と湾奥部には水深200m以上になるところがあり、これは内海だと深い部類になります。(テキストP3)

問4.①

[解説]蒲生八幡神社にある大クスは根まわりが33m、幹回り24m、高さ30mもあり、国の特別天然記念物に指定されている、日本一の巨木です。(テキストP5)

問5.①

[解説]1993年に鹿児島湾奥で採取されたチューブワームは、世界で最も浅いところで棲息している新種として、サツマハオリムシの学名がつけられています。(テキストP6)

問6.②

[解説]橋牟礼川遺跡では、開聞岳の火山灰の地層の下から縄文土器、上から弥生土器が出土したことから、縄文時代が弥生時代より古いことが証明されました。(テキストP7)

問7.②

[解説]黒砂糖は奄美大島や種子島が主な生産地であるサトウキビを原料に造られています。(テキストP13)。

問8.③

[解説]斉彬は美しい色ガラスを被せカットして模様を表す、薩摩切子を完成させました。斉彬の死後一時途絶えましたが、現在復興され県の伝統工芸品の一つになっています。(テキストP8)

問9.②

[解説]県の鳥ルリカケス(テキストP5)。奄美大島、加計呂麻島等に生息しており、るり色の美しい羽毛が特徴です。

問10.③

[解説]酒ずしは、灰持酒をふり混ぜたすし飯と味付けしたシイタケ、干しダイコン、タケノコ、タイ、イカなどの具を交互に重ねて仕込む、ぜいたくな郷土料理です。(テキストP12)

問 11. ①

〔解説〕1702 年、前田利右衛門^{りえもん}が琉球から本土へ持ち帰ったと言われています。(テキスト P15) 鹿児島^{かごしま}の水はけの良い土壌^{どじょう}でもよく育ったため、米に変わって飢え^{うえ}から人々を救う作物になりました。

問 12. ②

〔解説〕薩摩藩士の教育は、郷中^{ごうちゅう}と呼ばれる一定の区域ごとに行われ、武士の心得を説いた「日新公いろは歌」^{じっしんこう}を暗唱したりしました。(テキスト P11) いろは歌は、島津義弘^{よしひろ}の祖父である島津忠良^{ただよし}(日新公)により作られました。

問 13. ③

〔解説〕鹿児島県の黒毛和牛の生産量は全国 1 位で、18.6%を占めています。(テキスト P13) 5 年に 1 度開催される「全国和牛能力共進会」で、2017 (平成 29) 年、2022 (令和 3) 年と 2 大会連続日本 1 に輝きました。

問 14. ②

〔解説〕「片耳の大シカ」「マヤの一生」などが代表作(テキスト P11)。戦後は、県立図書館長を務め、「母と子の 20 分間読書運動」を提唱しました。

問 15. ①

〔解説〕1862 年、島津久光の行列が生麦村にさしかかったところ、イギリス人の一行が馬に乗ったままであったため、無礼を働いたとして斬りつけられる事件がありました。賠償金^{ばいしょうきん}の支払いを拒否した薩摩藩とイギリスの間で「薩英戦争」起こりました。(テキスト P9)

問 16. ②

〔解説〕九州新幹線は 2011 (平成 23) 年に鹿児島中央-博多間で全線開業し、最短 1 時間 17 分で結ばれています。

問 17. ①

〔解説〕1543 年、種子島の門倉岬に漂着した中国船に乗っていたポルトガル人が持っていた鉄砲を島主が購入したことで、日本中に広がっていきました。(テキスト P17)

問 18. ①

〔解説〕「弥五郎どん祭り」は 11 月 3 日に、曾於市^{そお} 岩川八幡神社で行われる祭りです。弥五郎どんと呼ばれる大男の人形を台車に乗せて浜下りをします。(テキスト P18)

問 19. ③

〔解説〕薩摩焼は工芸的で贈答品^{そうとう}などに用いられた「白もの」と、日用品として用いられた「黒もの」の 2 種類に大別されます。(テキスト P15)

問 20. ②

〔解説〕ブリ・カンパチが「かごしまのさかな」としてブランド認定されています。(テキスト P15)。その他マグロ・ウナギの養殖も盛んです。